



もいまち

平成26年(2014年)11月

第61号

# 議会だより

写真/「とったあ！」～宮園小学校 運動会～

《主な内容》

町の収入82億円を超える！	2～3
9月定例会で決まったこと	4～5
予防接種の補助は？/減額修正案提出	6
一般質問 「さざんか荘」跡地の利用 他	7～10
内閣総理大臣に意見書提出	11

森町議会は、9月定例会を5日から24日までの会期20日間で開催しました。

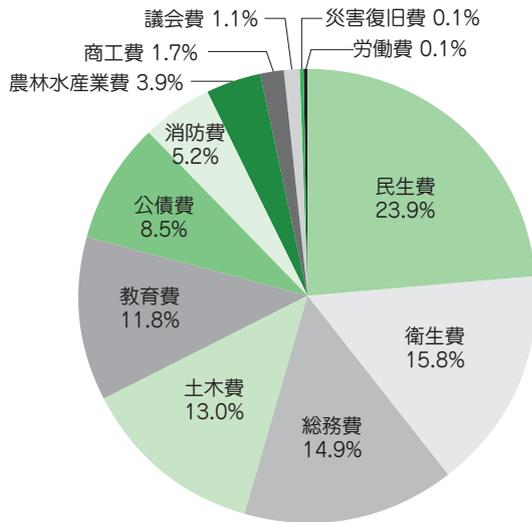
平成25年度決算認定、平成26年度補正予算、条例改正、人事など、提案された21議案と議員発議による意見書の提出について審議しました。

また、「さざんか荘」跡地の利用、政務活動費の見直し、森町合併60周年記念事業、土砂災害危険箇所の見直し、森町北部中山間地区アンケート調査、学校への太陽光発電の設置、町有林天宮小田ヶ谷の活用、原発重大事故における避難計画等について8人が一般質問をしました。

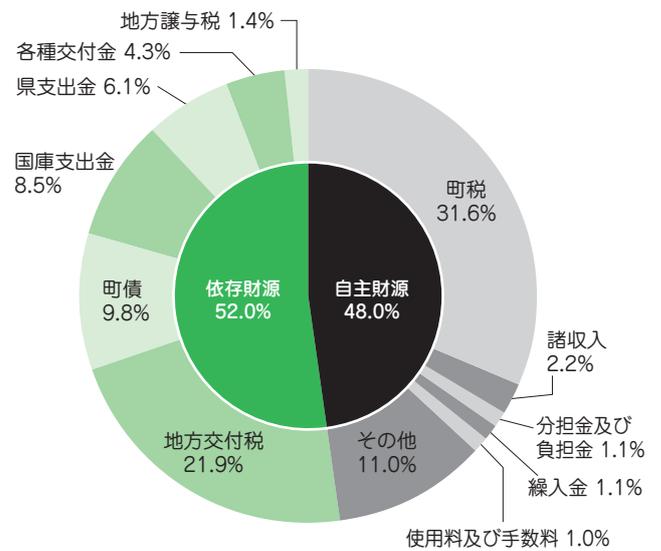
(7P~10Pに掲載)

# を超える!

〈歳出〉73億6,319万円 (前年比4.7%増)



〈歳入〉82億4,909万円 (前年比3.0%増)



## 〈財政調整基金残高・地方債残高の推移〉

(万円未満四捨五入)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
財政調整基金残高	11億7,132万円	17億7,363万円	18億7,627万円	19億7,820万円	21億8,487万円
地方債残高	57億1,549万円	58億9,822万円	59億4,050万円	61億9,066万円	64億5,325万円

25年度末地方債残高のなかには、元金と利子が国から全額交付税措置される臨時財政対策債(35億3,151万8千円)も含まれています。

臨時財政対策債を除いた町の借金は、29億2,173万5千円となります。

平成25年度は、第2次安倍内閣の「アベノミクス」により、緩やかな景気回復の兆しが見え始めました。

一方、震災復興、社会保障制度、消費税増税、TPPに伴う農政改革など、国内外に多くの課題も残りました。

森町では、年度末には「遠州森町スマートインターチェンジ」の供用が開かれ、町の活性化に期待が膨らむ中、人口減少や定住化対策について一層の取組強化が求められ、次世代につながる成長の礎づくり、防災対策、医療・福祉の充実といった事業に取り組みました。

一般会計の総額は歳入82億4,909万円、歳出73億6,319万円で、前年度と比較して歳入3.0%、歳出4.7%のプラスとなりました。

歳入における自主財源の割合は、国庫支出金及び県支出金等の依存財源の増加により、前年度より1.0ポイント減となる48.0%でした。

26年度に繰り越した事業を除く歳出予算に対する執行率は96.9%でした。

財政調整基金は、前年度に比べ、2億6,677万7千円増の21億8,487万4千円となりました。

地方債の現在高は、前年度に比べ、2億6,259万5千円増の64億5,325万3千円となりました。

# 平成25年度決算を認定

(一般会計)

# 町の収入、82億円

〈決算の推移〉

(万円未満四捨五入)

会計名		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度		
一般会計	歳入	77億4,926万円	79億4,034万円	77億5,116万円	80億 789万円	82億4,909万円		
	歳出	69億8,443万円	71億5,505万円	67億9,597万円	70億3,389万円	73億6,319万円		
特別会計	国民健康保険	歳入	19億8,751万円	20億4,097万円	20億5,598万円	21億1,180万円	21億2,599万円	
		歳出	19億2,709万円	19億5,286万円	19億6,440万円	19億6,285万円	19億7,682万円	
	老人保健	歳入	3,191万円	104万円	—	—	—	
		歳出	3,125万円	104万円	—	—	—	
	後期高齢者	歳入	1億7,155万円	1億6,962万円	1億7,145万円	1億8,321万円	1億8,578万円	
		歳出	1億7,113万円	1億6,912万円	1億6,912万円	1億8,032万円	1億8,569万円	
	介護保険	歳入	15億1,937万円	15億7,461万円	16億4,298万円	17億5,239万円	18億3,849万円	
		歳出	15億 576万円	15億7,367万円	16億3,251万円	17億3,864万円	17億9,828万円	
	公共下水道事業	歳入	4億6,514万円	5億3,812万円	3億7,252万円	4億9,600万円	5億8,537万円	
		歳出	4億 212万円	5億 544万円	3億5,097万円	4億5,400万円	5億3,464万円	
	簡易水道事業 (大久保・三倉・大河内)	歳入	528万円	630万円	473万円	455万円	445万円	
		歳出	378万円	476万円	338万円	333万円	336万円	
企業会計	水道事業	収益的収支	歳入	2億5,134万円	2億5,475万円	2億5,349万円	2億6,132万円	3億 259万円
		歳出	2億4,801万円	2億5,282万円	2億5,780万円	2億6,819万円	3億 654万円	
	資本的収支	歳入	9,579万円	1億 948万円	1億1,452万円	1億3,414万円	1億 709万円	
		歳出	1億5,106万円	1億7,300万円	1億9,044万円	2億 840万円	2億1,426万円	
	病院事業	収益的収支	歳入	24億2,601万円	26億 400万円	27億1,693万円	28億1,533万円	28億8,061万円
		歳出	25億4,214万円	26億7,501万円	28億 348万円	28億3,156万円	29億 835万円	
	資本的収支	歳入	3億 337万円	2億4,676万円	5億9,451万円	2億4,863万円	4億2,945万円	
		歳出	3億6,159万円	3億1,675万円	6億6,560万円	3億4,225万円	5億2,247万円	
合計	歳入	150億 653万円	154億8,599万円	156億7,827万円	160億1,526万円	167億 891万円		
	歳出	143億2,836万円	147億7,952万円	148億3,367万円	150億2,343万円	158億1,360万円		

討 論

一般会計

【賛成討論】

厳しい財政状況の中、大型事業に取り組んでいるが、財源に国庫補助金を確保するなど知恵を絞っている。

(太田議員)

特別会計(国民健康保険)

【反対討論】

少子高齢化の中、社会保障の充実が望まれる。一世帯1万円の引き下げが必要と考える。

(西田議員)

【賛成討論】

25年度も継続して安定経営が図られ、円滑な運営がなされており、決算は良好である。

(山本議員)

水道事業会計

【反対討論】

給水単価をもっと下げてもらおうべく、関係自治体と連携し、働きかけを強めていかなければならない。

(西田議員)

【賛成討論】

県水使用料は1mあたり1円引き下げられている。事業費の節減についても、配水管の更新等努めている。

(山本議員)

# 歩道・車道を整備 (役場前～西幸町)

## 補正予算

一般会計など、4会計の補正予算を審議しました。

一般会計は、第二常任委員会から減額修正案を提出し、歳入歳出にそれぞれ2億7000万2千円を追加し、26年度予算は72億94万8千円となりました。(一般会計補正予算第4号含む)  
主な内容をお知らせします。

一般会計補正予算(第3号)  
社会保障・税番号制度(マイナンバー)の導入に対応するための費用として2862万円。

水ぼうそう、高齢者肺炎球菌の定期予防接種に946万円。

天方地区の防霜ファン設置事業に対する補助金として1056万円。

道路の緊急性を要する維持管理、及び舗装の補修等に1340万円。

町道新田赤松線の歩道及び車道の舗装等の改築と、町道権現堂線の改築工事に4600万円。

太田川親水公園利用者の四阿(あずまや)設置に910万円。

飯田小学校の給食棟耐震補強工事の経費として3095万円。

### 【賛成討論】

住民福祉の向上に必要な補正予算であり、町内会等地域住民の要望に応えるものでもある。

(中根議員)

国・県の補助金を活用し、財源も無理なく確保されている。

(伊藤議員)



老朽化した歩道(遠江総合高校南側)



9月に完成した「天宮公園」

## 条例

### 森町都市公園条例 〔一部改正〕

本年9月に天宮土地区画整理事業地内の「天宮公園」が完成したことに伴い、条例に天宮公園を追加しました。

### 森町社会体育施設の設置、管理及び使用料に関する条例 〔一部改正〕

新体育館建設に伴い、現在の体育館と、隣接する町営テニスコートとを11月末で閉鎖するため、関係する部分を改正しました。

# 新田赤松線

## 一般議案

森町清掃センター解体撤去工事の請負契約の締結と、町道路線(中央体育館線)の廃止について議決しました。

## 人事

### 森町副町長

9月30日に任期満了となる鈴木寿一氏の再任に同意しました。

### 教育委員会委員

9月30日に任期満了となる比奈地敏彦氏の再任に同意しました。

## 議員発議

給付型奨学金制度の創設を求める意見書  
地震財特法の延長に関する意見書  
「農協・農業委員会等に関する改革」に関する意見書

以上の意見書を、内閣総理大臣及び担当大臣等に対して提出しました。  
(11ページにて内容を紹介します)

## 補正予算(追加議案)

### 一般会計補正予算(第4号)

資材、労務費の高騰等による天浜線新駅設置工事負担金の追加に2800万円。

## 9月定例会の審議結果

議案名		結果	備考	議案名		結果	備考
人事	森町副町長の選任	同意	全員賛成	決算認定	平成25年度森町一般会計歳入歳出決算認定	認定	全員賛成
	森町教育委員会委員の任命	同意	全員賛成		平成25年度森町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	認定	反対 西田議員
条例	森町都市公園条例の一部を改正する条例	原案可決	全員賛成		平成25年度森町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	認定	全員賛成
	森町社会体育施設の設置、管理及び使用料に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	全員賛成		平成25年度森町介護保険特別会計歳入歳出決算認定	認定	全員賛成
補正予算	平成26年度森町一般会計補正予算(第3号)	修正可決	全員賛成		平成25年度森町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	全員賛成
	平成26年度森町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決	全員賛成		平成25年度森町大久保簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	全員賛成
	平成26年度森町介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決	全員賛成		平成25年度森町三倉簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	全員賛成
	平成26年度森町病院事業会計補正予算(第2号)	原案可決	全員賛成		平成25年度森町大河内簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	全員賛成
一般議案	平成26年度森町一般会計補正予算(第4号)	原案可決	全員賛成		平成25年度森町水道事業会計決算認定	認定	反対 西田議員
	建設工事請負契約の締結	原案可決	全員賛成		平成25年度森町病院事業会計決算認定	認定	全員賛成
	森町道路線の廃止	原案可決	全員賛成	議員発議	給付型奨学金制度の創設を求める意見書の提出	原案可決	全員賛成
			地震財特法の延長に関する意見書の提出		原案可決	全員賛成	
			「農協・農業委員会等に関する改革」に関する意見書の提出		原案可決	全員賛成	

# 委員会報告

本会議で付託された補正予算などの議案について、第一常任委員会は9月16日、第二常任委員会は9月16日、17日、19日に審査を行いました。審査のなかでの主な質疑についてお知らせします。

## 第一常任委員会

**Q** がんばる地域交付金3800万円の詳細は。

**A** 国の補正予算に伴う公共事業等の地方負担額等に応じて算定される交付金で、総合体育館建設事業やスマートIC関連事業、森地区まちづくり事業等に着手してきた。

地方負担分の約1割の交付金が見込まれることから、新田赤松線の整備に充てていきたい。

**Q** 国は診療報酬改定や病床数の見直し等を進めているが、森町病院第3次改革プランにどう反映するのか。

**A** 高度急性期医療は磐田市立総合病院、中東遠総合医療センターが中心となっていく予定で、森町病院は地域包括ケア病床を含む急性期・回復期医療に力を入れた改革プランとしたい。

**Q** 10月1日から開始する定期予防接種に補助はあるか。また、今年度すでに受けた人はどうなるか。

**A** 水ぼうそうの予防接種は全額補助で無料、高齢者肺炎球菌ワクチンは一部補助があり対象者は3000円、対象外の方は任意予防接種において5000円の自己負担で接種できる。

10月1日以前に受けられた方については、補助対象外となる。

## 第二常任委員会

一般会計補正予算(第3号)は、委員会では太田川親水公園四阿(あずまや)設置工事を1281万1千円から910万円に減額する修正案を提出しました。

**Q** 四阿設置1281万1千円は高すぎるのではないか。

**A** 河川の洪水敷に設置するため、速やかに撤去できることがコスト増の要因である。

**Q** 設置工事の諸経費を下げられないか。

**A** 土木工事のうちの公園工事としてはなく、建築工事として発注することで可能である。

**Q** 土木工事と建築工事ではどう違うのか。

**A** 問題なく設置できる。  
**Q** 予算額を910万円にしても予定していたものと同等の面積、機能、安全性を備えた四阿が出来るか。

**A** 屋根は部材を替えてコストを下げると耐久性に劣る。支柱は部材を替えると見た目が多少劣るが、強度、耐久性は変わらない。

**Q** 部材を替えることでコストダウンできないか。

**A** 土木工事は土木事業者、建築工事は建築事業者と発注する業者が違う。積算の考え方の違いだけなので、工事や構築物への影響はない。



四阿を設置する親水公園



森町文化会館 空調施設の視察



森町の景色を一望できる「さざんか荘」の跡地



伊藤 和子

## 「さざんか荘」跡地を 観光のビュースポットに

**問** 「さざんか荘」跡地を「遠州の小京都森町」の景色を一望できる観光の「ビュースポット」として整備してはどうか。

**町長** 景観の良い土地であるので、「遠州の小京都」構想づくりを進める中で、観光面で少しでも役立つよう、議論を重ね検討していく。

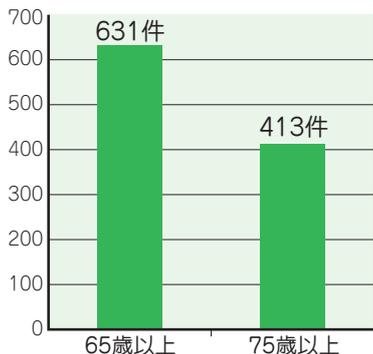
### 配食支援サービスの実施を

**問** 高齢者世帯へ食事を届けることで、見守りや声かけの支援にもつながる配食支援サービスの実施について、考えを伺う。

**町長** 平成27年4月の介護保険法改正を契機に、介護保険事業の中で配食サービスに取り組んでいきたい。

対象者は、一人暮らしの高齢者及び高齢者のみの世帯で調理が困難な方、栄養バランスのとれた食事の確保が困難な方等としたい。

H26年4月  
森町の一人暮らし世帯数



## 町政を問う ～一般質問～



小沢 一男

### 政務活動費・費用弁償の 廃止・見直しは

されている。議員は率先して経費削減に努めるべきであると考えながら、町長の考えを伺う。

**町長** 政務活動費・費用弁償の支給廃止については、議会の意見を尊重したいので、議会内で議論があれば推移を見守る。

### その他の質問

・可燃ごみ収集回数の格差について

**問** 政務活動費は、地方自治体の議員に対し報酬とは別に支給され、全国で不適切な支出が問題となり、「第二の報酬」と言われている。森町では、議員一人に月額1万円、年12万円が交付されている。景気が厳しい局面を迎え、生活保護世帯の増加や、子育て家庭の貧困度が増加している報道を見るたびに、町民の血税から政務活動費を支給することに疑問を感じる。支給廃止の考えはないか。

**町長** 他県で不正な支出が報じられ社会問題となっているが、当町ではそのような事実はないと認識している。

制度として認められているので、有効かつ効果的に政務活動費を活用していただきたい。

**問** 議員が本会議や委員会等、公務のための会議に出席するための旅費として、費用弁償が月額1000円支給されている。費用弁償は近隣市ではすでに廃止



可燃ごみ収集の様子(橋地内)



太田 康雄

# 将来のまちづくりのための計画は

**問** 今年度策定予定の公共施設等総合管理計画の内容と進捗は。

**町長** 総務省から示された指針では、「厳しい財政状況が続く中で、今後、人口減少等により公共施設等の利用需要が変化していくことが予想されることを踏まえ、早急に公共施設等の全体の状況を把握し、長期的な視点をもって、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うことにより、財政負担を軽減・平準化するとともに、公共施設等の最適な配置を実現することが必要」とされている。

そのため、県や周辺自治体と情報交換又は連携しながら進めていくことが効率的であることから、計画策定の期間を26、27年度とし、1年目に基礎データ収集、2年目に基礎データの補足調整と計画策定を行うことが適切と判断している。

**問** 将来的な町の姿を決めるための計画であり、総合計画と関係する。第9次総合計画策定の予定は。

**町長** 現在の計画の最終年度が27年度なので、27年度に基礎的データを収集し、28年度に第9次計画を策定する。28年2月に町長選挙があるので、次期を担う町長が策定すべきと思う。

**問** 平成27年度に合併60周年を迎えるが、記念事業の考えと計画は。

## 60周年記念事業は

**町長** 職員から記念事業の提案を募集したので、検討会、作業部会を設置し検討する。そして平成27年度当初予算に記念事業を位置づけ、各課の事業を検討したい。またホームページや広報等で、町民の意見も頂きたい。

## 町政を問う ～一般質問～



中根 幸男

# 土砂災害危険箇所の見直しは

**問** 森町の土砂災害危険箇所は、428箇所となっている。今後、土砂災害危険箇所の見直しと、土砂災害警戒区域の指定等どのように取り組んでいくか。

**町長** 県が土砂災害危険箇所を対象に基礎調査を進めており、平成28年度までに町内全域を終了させ、土砂災害警戒区域等の指定を29年度末までに完了する予定である。

指定に当たっては、土木事務所が地元説明会を開催し、土砂災害警戒区域等の区域指定の範囲や規制内容等について説明する。また、「土砂災害ハザードマップ」は、区域指定等が完了した時点で、どの範囲で作成するのが望ましいか検討して着手して参りたい。

## 太田川上流部土地改良区域内の町道(農道)舗装の再整備は

**問** 太田川上流部地区内の町道(農道)は、舗装完了後30年から40年が経過し、経年劣化により亀裂等が生

じている。県営土地改良事業等により舗装の再整備ができないか。

**町長** 県営事業による農道整備事業は、県農地局の通知により振興山村地域等での採択のみとなり、南部地域は事業対象外となった。

緊急性の高い損傷が発見された場合は、その都度補修を実施し、広範囲の農道補修は、今後の森町水田農業の発展を見据え、効果的かつ効果的な整備を検討していきたい。



台風18号による土砂災害の様子(向天方)



吉 筋 恵 治

# イノシシ対策をどうするか

**問** 山間地アンケートと聞き取り調査では、「今何が必要か」の問いに有害鳥獣対策が最も多かった。実害に対し対策が不足であると考ええる。農家保護の見地から電気柵等有害鳥獣対策の拡充及び鹿の捕獲対策の考えはあるか伺う。

**町長** 電気柵等の購入費を補助する条件や交付上限額の見直しについて、検討していくことも必要であると考えられている。

近隣市町では、交付上限額が10万円であったり、条件によって交付上限額が異なる制度になっているため、他市町を参考にして上限額の引き上げを検討したい。

鹿等の捕獲については被害データの収集中で、もう少し時間が必要である。

**問** 現在の耕作放棄地対策では実績は上がらないと考える。新しい基幹農産物への助成について考えを伺う。



獣害で全滅(約250kg)したコンニャク畑(葛布)

**町長** 三倉・天方地区で45ヘクタールの耕作放棄地と聞いている。2年前よりくり栽培の支援を行っており、今年度よりコンニャクの産地化の検討を始めている。新しい基幹農産物の取組が必要と思う。

新しい基幹農産物への助成については、中山間地域農業振興協議会の意見を踏まえ、検討していきたい。

## 町政を問う

### ～一般質問～



鈴 木 托 治

# 学校の屋上に

# 太陽光発電の設置を

**問** 地球温暖化に伴う授業環境の悪化は、子どもたちの集中力・学習力を鈍らせる一因となっている。校舎の屋上に太陽光発電装置を設置して、その電力で教室内に冷房をかけたければ、環境問題の点からも理想的である。設置についての考えを伺う。

**町長** 学校における学習環境の改善については、教室に扇風機を設置して、授業環境を整える等対応してきた。

太陽光発電については、自然エネルギーを有効活用する点で、環境やエネルギー教育に役立つことから、学校で導入している事例もある。

校舎の屋上に太陽光発電装置を設置するには、設置を想定して耐震補強を実施していないので、構造計算上問題がないか調査を行い、安全対策を検討した上で実施する必要があらう。

環境負荷の軽減や、環境教育の観点からも重要であり、今後検討していきたい。

**教育長** 学習できる環境が以前に増して整ってきたが、今後、子どもや教師の声を聞きながら対応を考えていきたい。

### その他の質問

・役場内の組織改革について



環境教育の面からも注目される太陽光パネル



片岡 健

## 町有地「天宮小田ヶ谷」の活用は

**問** 町有地山林である小田ヶ谷地区の活用については、平成20年12月議会的一般質問の中で「土地利用の規制もかかっていないので、可能な限りの企業誘致も考えられる」と答弁している。

県の内陸フロンティア構想では、森町の位置づけとして「創造的田園居住エリアの形成」としている。工場等の企業誘致に限らず、早い段階で当地区を開発すべきと思うが、今一度考えを伺う。

**町長** この土地は、現在普通財産の山林として所有管理をしており、各種の公共工事によって発生する残土の処分場としても利用している。

現在は、都市計画区域内の無指定地域ということで特定の用途を定めてはおらず、また、町の国土利用計画や都市計画マスタープランの中においては「土地利用促進ゾーン」「土地利用検討エリア」として位置づけをしており、交通利便性を活かした有効利用を検討することをつたっている。



町有地山林・天宮小田ヶ谷(森中学校北側)

現在、町として具体的な土地利用構想は持ち合わせてはいないが、企業進出に伴う相談窓口となる企画財政課において、引き続き当用地を紹介する中で、企業進出の可能地の一つとして対応していきたい。

## 町政を問う ～一般質問～



西田 彰

## 原発事故における町の避難計画は

**問** 県が定める31kmのUPZ圏に対し、町は30kmと設定している。その説明が徹底されていないと思うが、考えを伺う。

**町長** 県は、UPZの区域を当初30kmで設定予定であったが、区域が多く含まれる市町の意向を踏まえ、31kmとした。しかし、対象市町固有の自然的・社会的状況を勘案し、希望に応じた運用を行うとしたことから、町は30kmとし、対象区域の園田・飯田町内会長及び森町防災連絡会において全町内会長への説明を行った。今後も住民まで説明がしっかりと届くよう努めていく。

**問** 3月に策定されたという避難計画を、町民に対してしっかりと説明していくべきと思うがどうか。

**町長** 今年の3月に、地域防災計画の修正で、UPZ区域の住民を対象に避難計画を策定し、5月には防災連絡会で全町内会長へ説明をしている。

今後も、計画については広報等で周知していく。

## 安定ヨウ素剤の保管について

**問** 安定ヨウ素剤を森町病院で保管しているが、手に負えないでいるように感じる。

重大事故発生時、病院の役割が果たせるのか。また、原発の再稼働の是非についても伺う。

**町長** 万が一事故が発生し、「緊急事態」に至ったときに配布するが、配布と服用は国からの指示に基づいて行う。病院や医師会の協力の下、安定ヨウ素剤の効果や副作用などが分かる資料の配布や、服用に対する相談への対応を検討していく。

緊迫性があるから、マニュアルを作ったものであるから、マニュアルを作っておくことが必要だと思っている。原発の再稼働の是非については、住民の声を聞きながら判断させていきたい。

**特集**

**内閣総理大臣に**

**意見書提出**

意見書とは、公益に関することなどについて、国会や関係行政機関に提出するもので、議会の政策上の意思を決定し、その実現を目的とするものです。9月定例会では、3件の意見書が可決されました。

**給付型奨学金制度の創設を求める意見書**

【内容】 現行の貸与型奨学金制度の金利引き下げと、意欲ある学生に対する給付型奨学金制度の創設

【あて先】 内閣総理大臣、文部科学大臣、衆議院議長、参議院議長

**地震財特法の延長に関する意見書**

【内容】 26年度末に期限を迎える「地震財特法」の延長と、地震対策の一層の充実

【あて先】 内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、特命担当大臣(防災)他

「農協・農業委員会等に関する改革」に関する意見書

【内容】 農業・農村の実態を踏まえた、農業・農村の活性化を図るための改革

【あて先】 内閣総理大臣、農林水産大臣、内閣官房長官他

借りるお金	返すお金
4,140,000円	5,578,795円

※4年制大学、月8万円を借りて20年で返済する場合  
現在の奨学金は140万円以上の上乗せになる場合も

**内陸フロンティアを**

**県庁にて学ぶ**

7月31日、静岡県庁会議室にて全議員参加の下、研修会が開催されました。

県の担当者より、「内陸のフロンティアを拓く取組」についての構想、推進地区別の取組実績、技術支援措置・財政支援について等を、他県の進行施策事例を交えながら説明していただきました。

その後、質疑応答を行い、企業誘致やまちづくりからなどの観点



から、活発な意見交換が行われました。

午後からは、静岡市町の全議員を対象とした研修会が静岡市民文化会館で開催されました。

研修内容は『世界を読む、日本を読む』と題し、サンスター財団理事である「平野次郎」氏にご講演を頂きました。

# みんなのこえ



## 黄色のEプロンに思いを込めて

### かわせみの会

私たちのグループは発  
足以来15年、来院される  
皆様の車の乗降、車いす  
の介助、受付業務のお手  
伝い、院内各種備品の整  
理や布切り、ミシンがけ  
等、午前8時半から11時  
まで活動しております。

私たちは会員は、町民の  
視点からも、患者や自ら  
の意見を病院側に伝え、  
病院との意見交換会を月  
1回開催し、少しでも病  
院の役に立つことを目指  
しています。

高齢化の進む中、安心  
して日常生活を過ごすた  
めにも、森町病院と家庭  
医療クリニックの存在は  
大きく、近隣市町からも  
来院されています。

小さな町に独自の総合  
病院があるという、この  
森町の恵まれた環境に感  
謝し、町民全体で応援を  
しなければと考えます。

現在、来院される多数  
の方から、通院の交通手  
段の改善を望む声があ  
り、将来に向けての大き  
な課題となっています。  
「ごつくれるので助か  
るよ」、今日もうれしい  
お言葉を頂きました。  
「ごっかお大事に」

会員数 28名

会長 岩原 美津子  
副会長 坂部 かつ子

## 議会を聴きにきませんか

前回の議会では、のべ46人の方が、議会  
へ足を運んでくださいました。  
めんどろな手続きは必要ありません。  
是非、お越しください。

- 定員数28名
- お問い合わせ先…議会事務局  
電話 0538-85-6329

### <12月定例会の予定>

12月 5日(金) 本会議 初日  
 12月10日(水) 常任委員会  
 12月11日(木) 本会議 2日目  
 12月18日(木) 本会議 最終日

※会議の開始時間は午前9時30分です。  
 ※日程が変更される場合もありますのでご了承ください。

## あの 一般質問

どうなっただいやあ～

### 【平成26年6月定例会】

**Q** 太田川親水公園の利用者増加により、  
夏場の熱中症予防が課題となっている。  
日よけとなる四阿(あずまや)の新設を  
提案する。

**A** 利用者の多い公園であり、日よけの  
施設が必要であるということから、  
9月議会定例会において、太田川公  
園利用者の木陰づくり対策として、  
四阿を設置する工事の予算が可決さ  
れました。

## ひとこと

近年、地球温暖化の影  
響でしようか、大型台風  
や集中豪雨(ゲリラ豪雨)  
により、全国各地で土砂  
災害等が発生しています。

広島市では、8月20日  
未明、1時間に最大12  
1mmという猛烈な雨が降  
り、大規模な土砂災害が  
発生いたしました。

森町でも台風18号によ  
り、がけ崩れや堤防の決  
壊、河川の氾濫により、  
水稲や植え付け間もない  
レタスの冠水等の被害が  
ありました。

日本は自然災害の多い  
国であります。このため、  
災害に強いまちづくりを  
進めると共に、正しい知  
識を身につけ、自然災害  
に備え、防災について皆  
さんで考えましょう。

Y・なかね

議会だよりは年4回発行

## 議会だより編集委員会

議長 神原 淑友  
 委員長 片岡 健  
 副委員長 中根 幸男  
 委員 吉筋 恵治  
 委員 小澤 哲夫  
 委員 伊藤 和子